



GRANBLUE FANTASY  
Cagliostro FanBook

鐘金  
鐘金  
鐘金

冠を

R18  
Contents Include

20170813 aaaishiteru

3



# 錬金術師に

GRANBLUE FANTASY  
Cagliostro FanBook

五冠

0170813 aaaishiteru

3





# 鍊金術師に王冠を 3

GRANBLUE FANTASY Cagliostro FanBook  
20170813 aaaishteru











あいつとの  
出会いが  
何か関係  
あんのか…？

ていうか何で  
あいつが…



こうなったのは  
……そうだ

あいつと出会った  
あの日からだ



触るな!!



やっぱり……

ちゃんと話  
するっきゃ  
ねえか……



なんなんだよ  
あいつ……ッ!!

あ〜ッ  
くそ〜ッ

わー!!







…む？  
何がだ？

いや、だから…

お前この前なんか  
怒ってたみてえ  
だから……

我も…  
あんな態度をとる  
つもりは無かったのだ

それがつい…  
妙に焦ってしまっ  
我らしくもない……

ああ…

いや、  
あれは…

我の方こそ  
すまなかった

実をいうとな

お主に  
会ってからののだ

我がおかし  
くなったのは

……  
!!

なんだ…

こいつも  
オレ様と  
一緒なのか？

それでな、

もしや  
カリオストロ殿…

我にその  
錬金術とやらを  
かけたのでは  
あるまいな？

は？





……  
なあお前



むう……  
そうであるか……  
が……

こいつ本当に  
馬鹿だな……



そうであるならば  
今すぐ術を解いて  
欲しいのだ!!

たのむ!!!

いやいやいや  
かけてねえよ!!

そとそと  
鎌倉新って  
そとそと  
おま……!!!



その……  
詫びも兼ねて

今日はちゃんと  
聞いてやるから!



お前が  
焦ってるのって

前に言ってた  
お前の一族が  
関係あんのか?

それならさ……  
話してみるよ



おおっ……

それは  
誠か!?

あ……

ああ



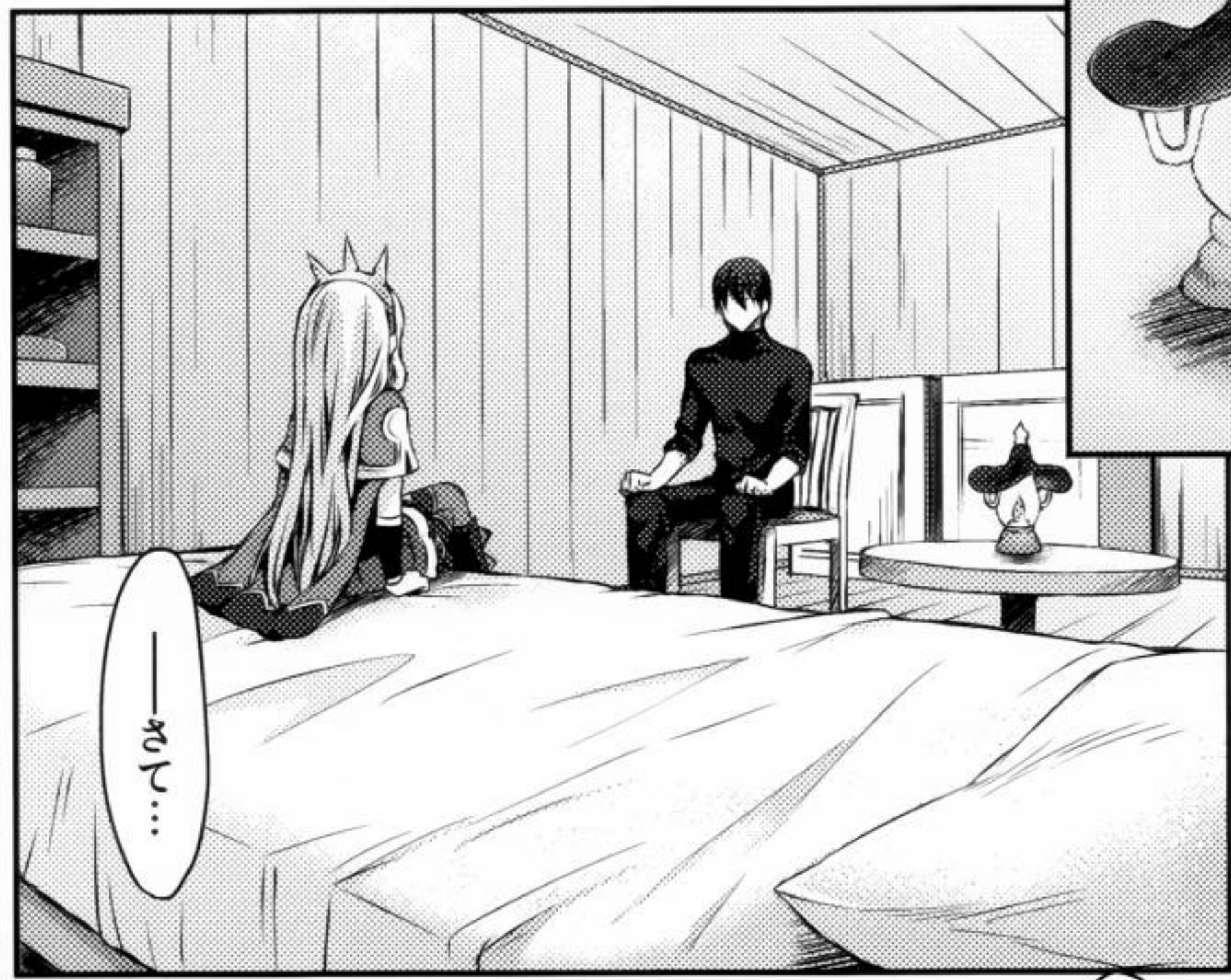
本当に  
話だけで  
あろうな?

手は  
出さねえよ!!



ぬ……ぬう……  
だが……その……



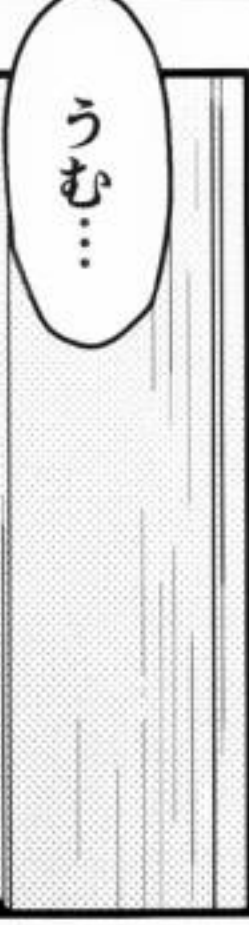


—さっ…



じゃ、聞かせてもらおうぜ

お前の一族の話  
ってやつを



うむ…

私の故郷である  
「翼」の一族には



代々伝わる  
予言が  
あってな…



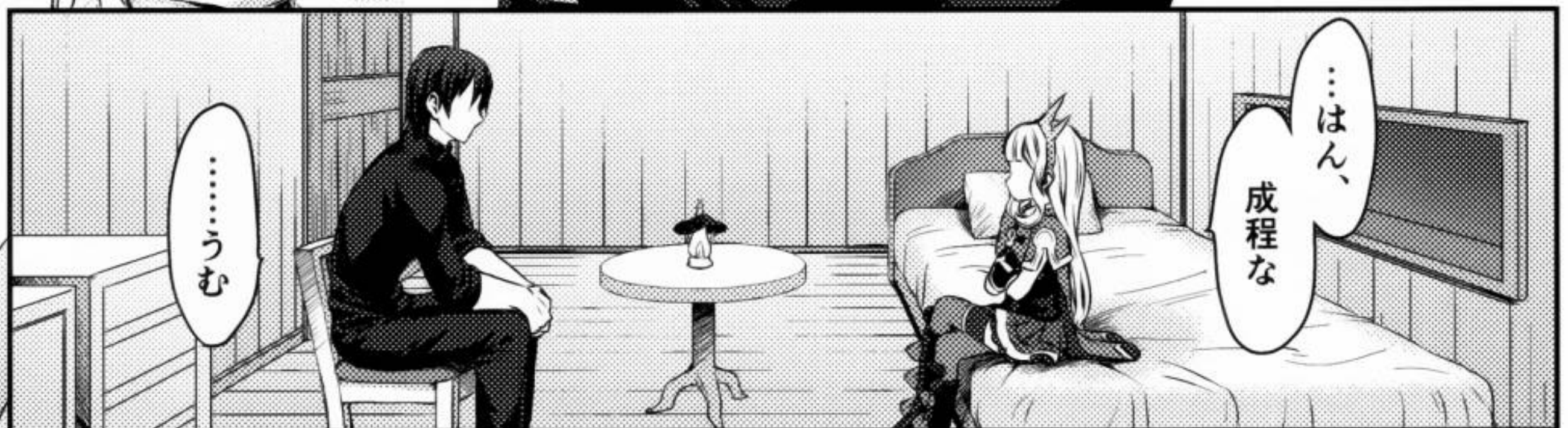
『そう遠くない未来  
何もかもが  
終りを迎える』



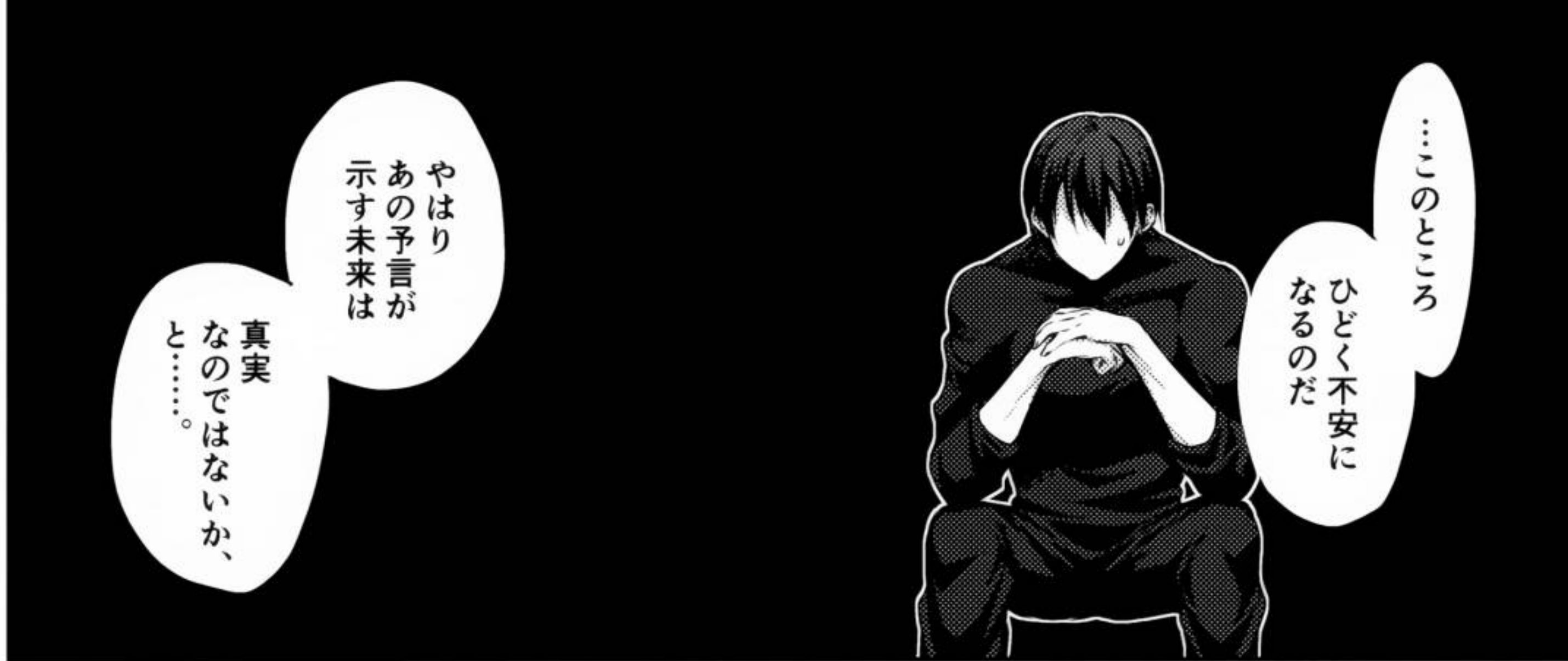
—つまり、  
一族の終末を  
予言するもので

その一族を救う事こそ  
王たる我に課せられた  
使命なのであるが…









……このところ  
ひどく不安に  
なるのだ

やはり  
あの予言が  
示す未来は

真実  
なのではないか、  
と……。

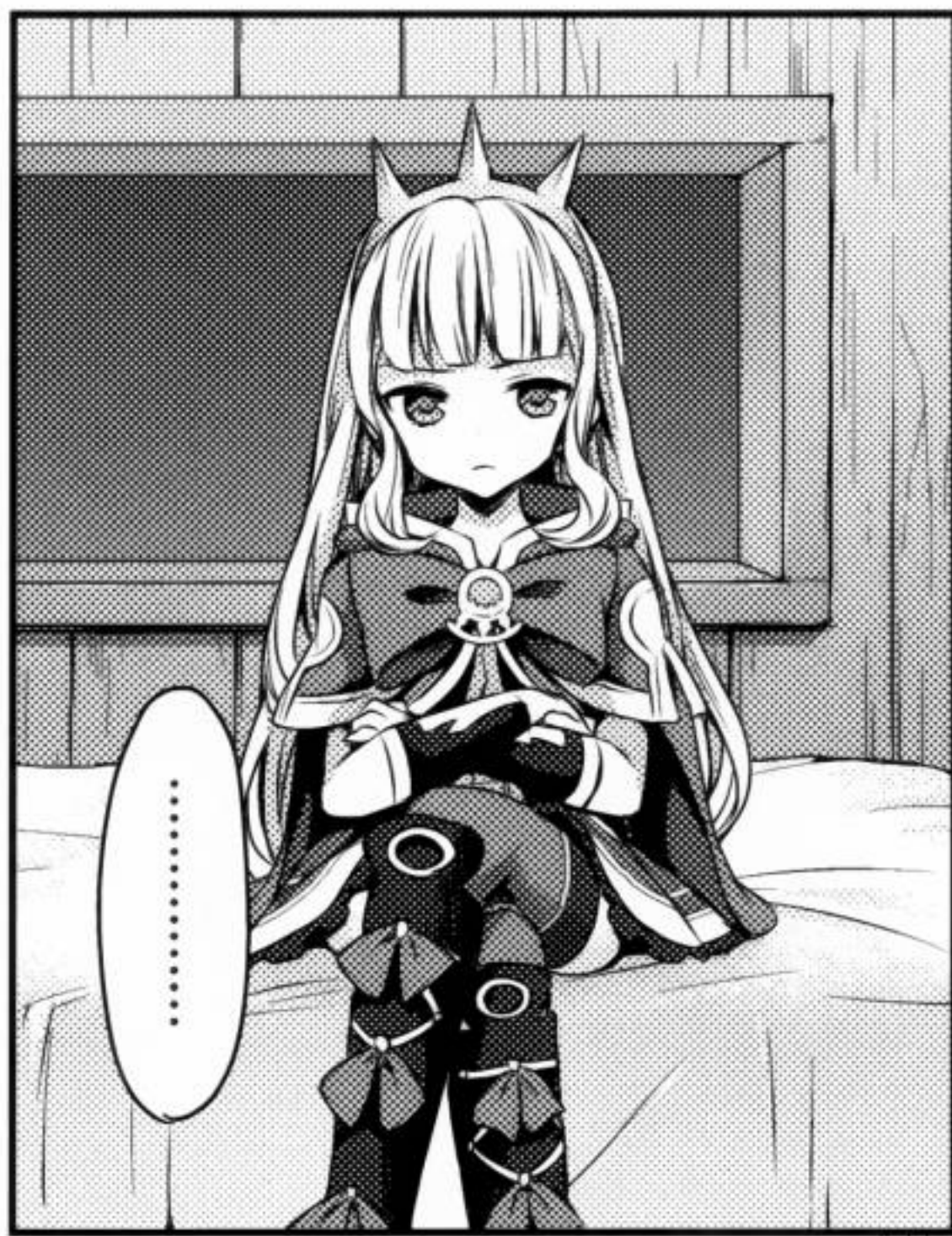


まるでそれを  
裏付けるかのように  
毎夜夢を見るのだ

一族が次々と斃れ  
滅ぶ悪夢をな……

ある時は  
天災により、

またある時は  
他国に攻め入れ……



……



その為には  
一刻も早く  
手を打たねば  
ならぬのだが……

はっ!!



そのような事  
決してあっては  
ならぬ!

だから必ず……!  
王である我が  
一族を救わねば  
ならぬのだ!!





お主の錬金術があれば  
たとえ我が一族に  
何があろうとも  
問題ではないと  
思うのだ!!

改めて訊くがっ  
私の妃となつては  
くれぬだろうか!?

そうだ!  
カリオストロ殿!!

は...はあ!?

.....  
だから  
ならねえって  
言つてんだろっ

だから  
是非!!



ぬう...  
そうか...  
名案であると思つたのだが...

いや...  
それで  
あろうな...

すまぬ...

.....



だが...  
それでは...

我は一体  
どうすれば  
よいのだ...?

.....  
ったく



問題は  
そこじゃねえ  
だろうか.....

フッ



...カリオストロ殿?

あ...  
の...  
さ...  
あ





別に  
一族なんて



滅んじまっても  
いいんじゃないか？



…なっ！

何を…  
言い出すのだ

お主…は…っ!?

…滅びようが  
滅びまいが

結局、最期に  
人は死ぬ。

早いか遅いかの  
違いだけだ





……っ



それだったらさあ…  
いいじゃねえか

皆仲良く  
死んじまえば



カリオストロ殿!

お主は：  
我が一族を  
愚弄する  
気か!?

我は真剣に  
申しておる  
のだぞ!?



はっ

何が可笑しい!?

ははっ…

あはっ!  
ああ、可笑しいな  
可笑しくて  
たまらねえよ



くっくっくっ…


!?



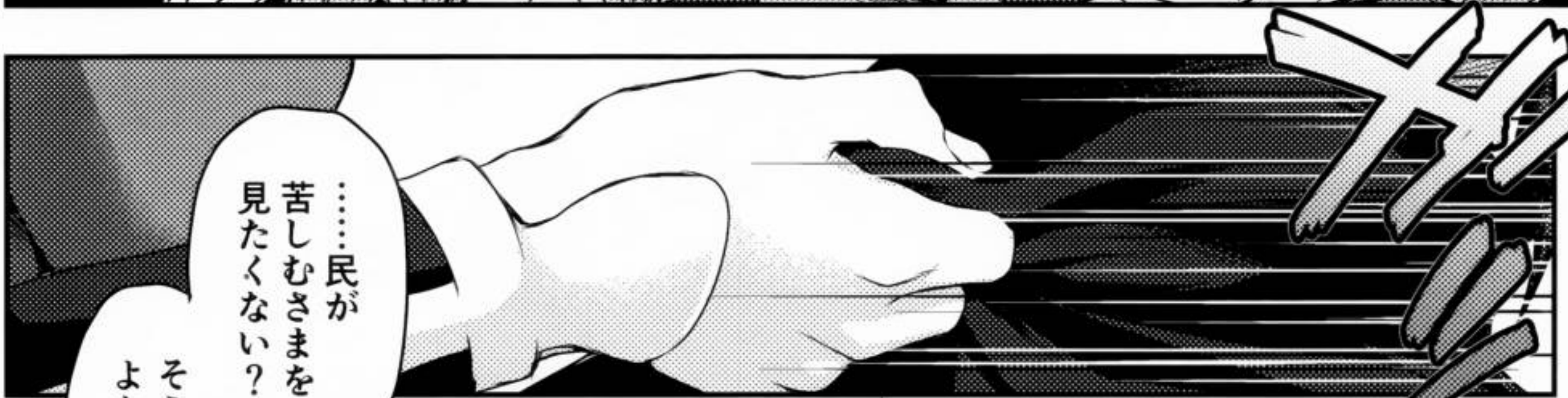
我は…!  
我が民を  
苦しむさまを  
見たくはない!

それを放って  
おくなど王として  
出来るものか!!





民想いの優しい  
王様気取りの  
お前がなあ……



……民が  
苦しむさまを  
見たくない？

そうじゃねえ  
よなあ？



お前が本当に  
見たくないのは

民を救えねえ  
無力な自分自身  
の姿だ



民を救えねえ  
無力な自分自身  
の姿だ



民を救えねえ  
無力な自分自身  
の姿だ



お前は結局  
自分の事しか  
考えてねえ

薄情で無力な  
どうしようもない  
人間なんだよ

いい加減  
認めろよ

しかもさあ…

そんな  
クソみてえな自分を  
直視する勇氣も  
ねえんだろ？

…やめ…ろ…っ

ほんっと…

お前って  
弱いな？

弱くて  
薄情で…

よくそんなんで  
自分は王だとか  
言えるよなあ！

クソみてえな  
お前自身を

そして

絶望しろ



……その通りだ……



……我は

薄情で

無力で弱くて

どうしようもない人間だ……

民を想うフリをして……

本当は自分自身の無力さを思い知るのが

恐いだけなのだ……

は……はは……

そうだな……

このような臆病者が一国の王などと……

何を思い上がっているのだろうか……

現に我は未だに

高所を恐れる心を克服できてはおらぬのだからな……

ははっ……

翼の一族の王が聞いて呆れるな……

……ん？

え、なに……お前高所恐怖症なの？

そうだ

翼の一族の王なのに？

……そうだ

でもお前戦闘中結構高くまで飛び上がったねえか？

あれは……！いつも！我慢しておるのだ……ッ！

……ていうかオレ様達今騎空艇に乗って空飛んでるしそもそもこの世界の島々って空に浮かんで……

やめろ!!そのことを思い出させるなあああ!!!

生きるのが辛くなるではないか!!





お前傑作だな!!

翼の一族なのに!  
高所恐怖症とか...っ!!

ハハハハ

喋



あ、悪りイ  
つい...

そこまで笑うことはないであろう!?



確かに我には薄情な面もあるがっ

民を想う気持ちも本物であるぞ!



これでも日々克服しようと努力しておるっ

確かに我は臆病者であるがっ



いや悪くねえよ

こんな私のどこが悪いのだ——ッ!?





オレ様は  
一度も  
悪いなんて  
言ってるねえよ

…む？  
悪くない  
…のか？

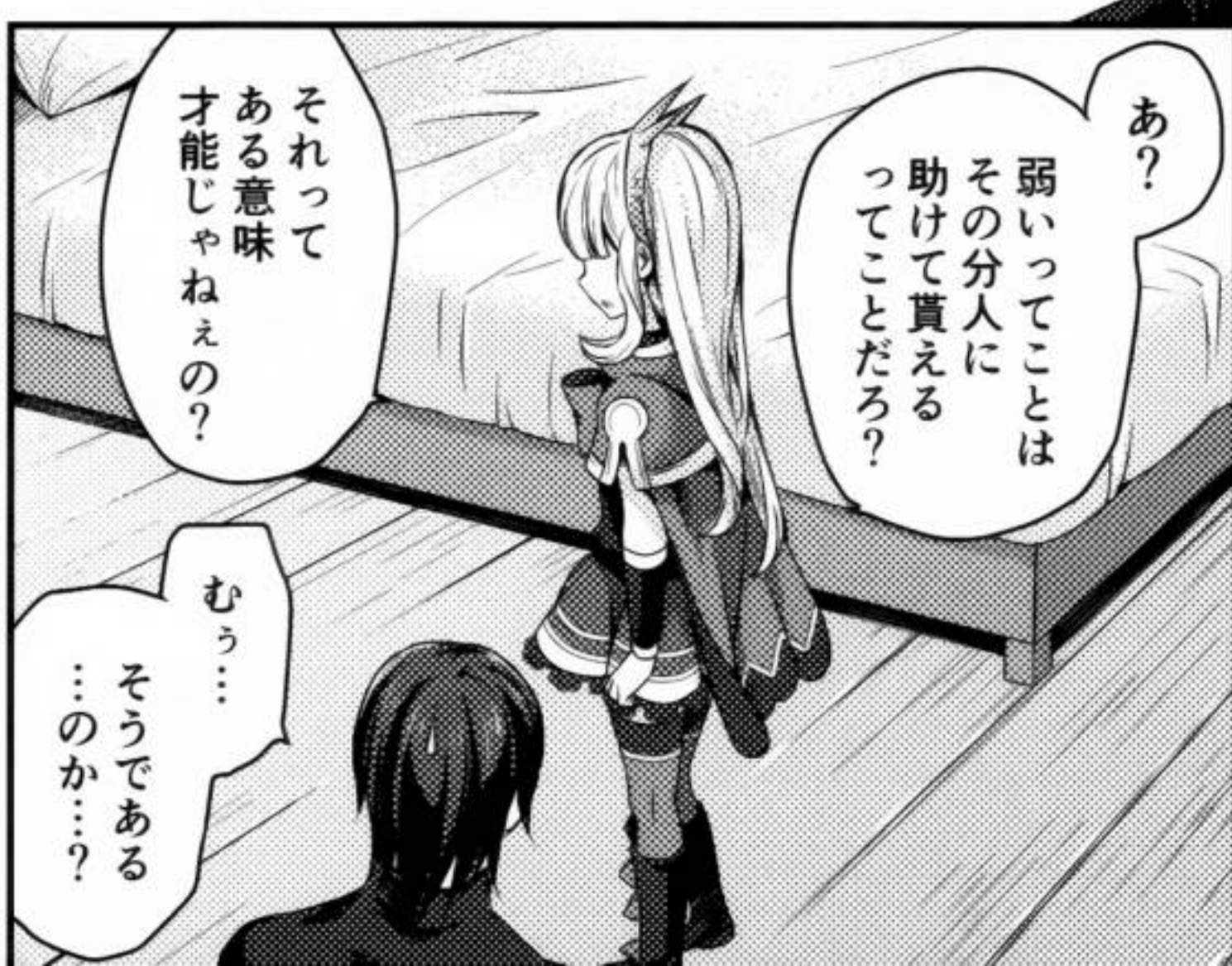


いいじゃねえか  
薄情で  
無力で臆病者で

それすら  
直視できねえ  
弱い人間でも



だからさ



それって  
ある意味  
才能じゃねえの？

あ？  
弱いってことは  
その分人に  
助けて貰える  
ってことだろ？

むう…  
そうである  
…のか…？



ま、  
聞いてて  
思ったのは  
お前はきつと  
いい王なんだらう  
…ってな  
…こんなに  
弱い我がか？



弱さってのは

宝だろ？





問題・悩み  
①  
見たくない自分  
味わいたくない感情

単純な話さ  
人が何かしら  
悩みや問題を抱え  
壁にブチ当たる時

そこには  
見たくなえ自分や  
味わいたくない  
感情が膿のように  
溜まってやがる

②  
見る・感じる  
↓  
問題・悩み  
が消失する

解決するのに  
てっとり早いのは  
思い切って  
皮膚を裂いて  
その汚ねえ膿を  
出しちまうこと

つまり…  
さっさと  
絶望しちまう  
ことだ

!?

なっ…  
な…!?

お、だいぶ  
ほぐれた  
みたいだな

…??

お前全身に力入って  
ガチガチだったろ?

…む!?

お…お主  
もしや我に  
錬金術とやらを!?  
いつの間に!?

それが緩んだって事は  
オレ様の読みが  
当たったって事だな

ちげえよ

心が緩めば  
同時に身体も  
緩むのが道理だ

どうだ?  
今は悪くねえ  
気分だろ?

うむ、確かに。  
身体も軽いが  
何より心がな…

なぜあんなにも  
焦っていたのやら  
今となっては  
思い出せぬ  
くらいである!

そうか…

じゃあ、きつと  
上手くいくぜ

は、は、は、

まあ万が一、  
この先一族が  
終末を迎える  
としても、

その時は  
存分に足掻けば  
いいだけのこと  
であるな!





カリオストロ殿…

…む？

お主…  
実は良い奴  
であるな？



…ということはお主は我のためにわざと悪役を？

あん？



ああ？



オレ様はただ…

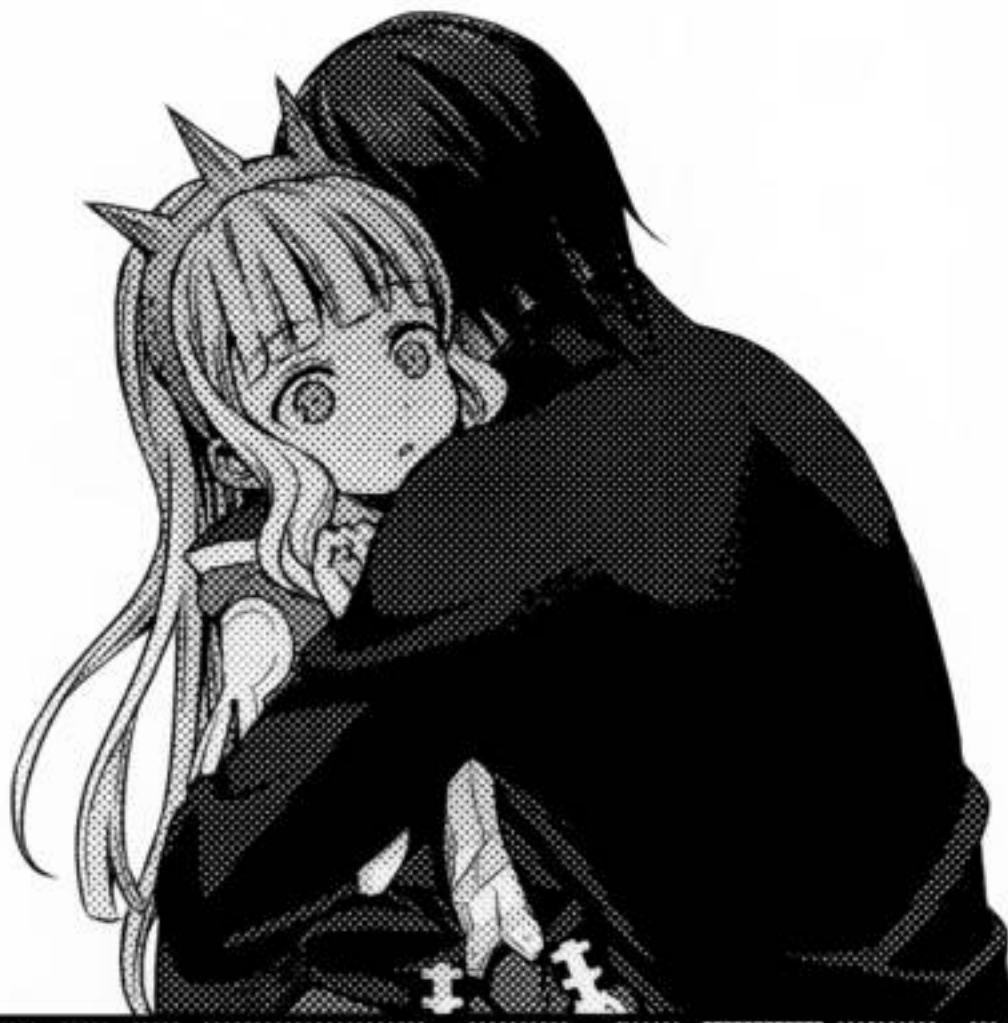
…まったくそんなんじゃないやねーよ



あ〜〜…  
ホラあれだ！  
オレ様はお前の下半身にしか興味ねえからな！

お前の身体が緊張してたら  
勃つもんも  
勃たねえから  
それで…っ





…カリオストロ殿は

我と  
したいのか？



は？

あ、  
いや…

それは…

その。



我はお主を  
抱きたい。



……っ！

あっ！

ちよっ…

あっ！

……っ







し、仕方ねえだろ…

オレ様の身体はあれからずっとこんなんで…っ

今もずっと我慢してたんだから…っ!



そうか…

なら

今日はもう我慢させぬ

急にやる気になりやが…

な…っんだよ…っ

あ…っ…っ

あ…っ…っ

あ…っ…っ

あ…っ…っ









どこが…  
いいのだ？

フク...

ア…アハハ  
コト…

グハッ  
グハッ  
グハッ

フク...

子宮に  
ゴキゲン  
か…

耳っ…♡

こころに  
触れられると

感じ…♡

奥が切なく  
なっちまう…♡





ま...  
まんこっ

な...  
腔内...  
あ...  
っ♡

かき...  
回して...  
くれ...よっ♡



たった

んんん



焦らされれば  
焦らされるほど



は...

早く...っ



たった  
んんん









ああ…  
気持ちいい…ぜ…♡

どう…だ  
よいか？



…でも



はあ？

何言ってるんだ  
いまさら



いや…その…

少々気恥ずかしい  
というか…



そろそろ  
こっちも…

わっ！  
ま、待て…っ



?  
な、なんだよ

お前だって  
したいんじゃない…



先ほど…  
お主には

情けない姿を  
見せてしまった  
のでな…

その…  
カリオストロ殿は  
よいのか？

こんな…  
どうしようもない男に  
身を任せてしまっても







いいも  
何も…

最初から  
言ってる  
じゃねえか

オレ様は  
お前の  
下半身にしか  
興味ないって



だから

お前が  
どんなに  
弱くて  
薄情で

情けない男  
でも

正直  
どうでもいい



ん…



ま、しいて  
言うなら

ちんこささえ  
あればいい



はっはっはっ！

な…  
何笑ってんだ!?



うむ…

いや、  
そうか…

そうで  
あったな…



?



なら…  
存分に  
お主の期待に  
応えてみせようぞ



あ…ああ  
期待してるぜ



はっ…

早く…っ

あつや

あつや













そんなっ…  
締め付けたら  
…まずい…ッ

そんなっ  
こと…っ

言ったって  
…っ

ビクッ!!

キョウウラッ

か、  
勝手に…っ

締め付けが…っ

もっ…!

出っ…!

あ…っ♡  
膣内…

♡…♡

♡…♡  
気持ち













激し……っ♡

どうなのよは  
嫌か？



ズコズコ  
って……っ♡

気持ち  
い……っ♡



またっ♡



いつちゃ……♡♡





だ...めえ♡

出す...ぞっ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょびしょ!

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょ

びしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ





お主のここは  
まだ足りぬ  
ようだが？

気持ち  
いい……っ  
から……っ♡

でもっ  
そうじゃなくてっ



お前……  
まだやる  
つもりかよ？

な、  
なあ……



ぬ？  
お主はもう  
飽きたのか？

いや、  
そうじゃねえけど……



その……



そりゃあ……  
だっ……っ





そう…だけど

そうじゃ  
なくて…っ

どうしたのだ？  
言ってみろ

っ



だっ…  
だから…

そのっ…

お…  
おしっこ！

だん

出そう  
だから…っ

トイレ  
行かせろ…



…ああ

ここで出して  
も  
構わぬぞ

まあ…私も  
見てみたいのでな

お主の…

ぼっ  
馬鹿か！

見せるもん  
じゃねえって…

は!?  
何言っ…

あっ！





ば...  
ばかっ

そん...なっ  
刺激した...らっ

出る...ッ!

ほん...とっ

出ちまじっ...っ

いいぞ...っ

我も出すのでな...っ

...抜くぞ

だめだっ  
今抜いたら...っ





ありえねえ  
からなっ!!!

オレ様が  
お漏らしとか...っ

くそ...っ  
くそお...っ



はっはっはっ  
くそ...っ

あ...ああ...

止まら...ねえ...っ



なんと  
いうか...

う...うむ...

ばかっ

ていうかっ  
お前も  
ガン見して  
んじゃねーよっ



興奮した

.....!?

はあ!?

なんでお前  
オレ様の放尿見て  
勃起してんだよ

おかしいだろっ



へ...  
変態...かよ...

...まあ  
お主には  
負けるがな

...ああ?











そんなに…  
私のが  
よいのか？

ん…っ♡  
ああ…っ  
そう…  
だよ…っ



でも  
お前だって  
…っ

オレ様のっ  
まんこに  
夢中…だろ？

我は  
お主に夢中だ

ああ  
そうだ



またっ♡  
いくっ♡

くっ…  
我も…っ

出…る…っ









カリオストロ殿……





私の…  
妃になつては  
くれぬか？



いや…  
だから

ならないって  
言ってる  
じゃねえか



オレ様の身体じや  
子供は出来ねえし

そもそも  
こういう関係に  
なったのも  
オレ様が望んだか…



オレ様は  
お前の一族を  
救うとか  
興味無えし

ああ  
それから

オレ様に対して  
責任を取るつても  
面倒臭えからナシな？



そういう  
意味ではない



…じゃあ  
どういう  
意味だ？



……  
いや、  
いや。

忘れてくれ



またな

ああ、  
また

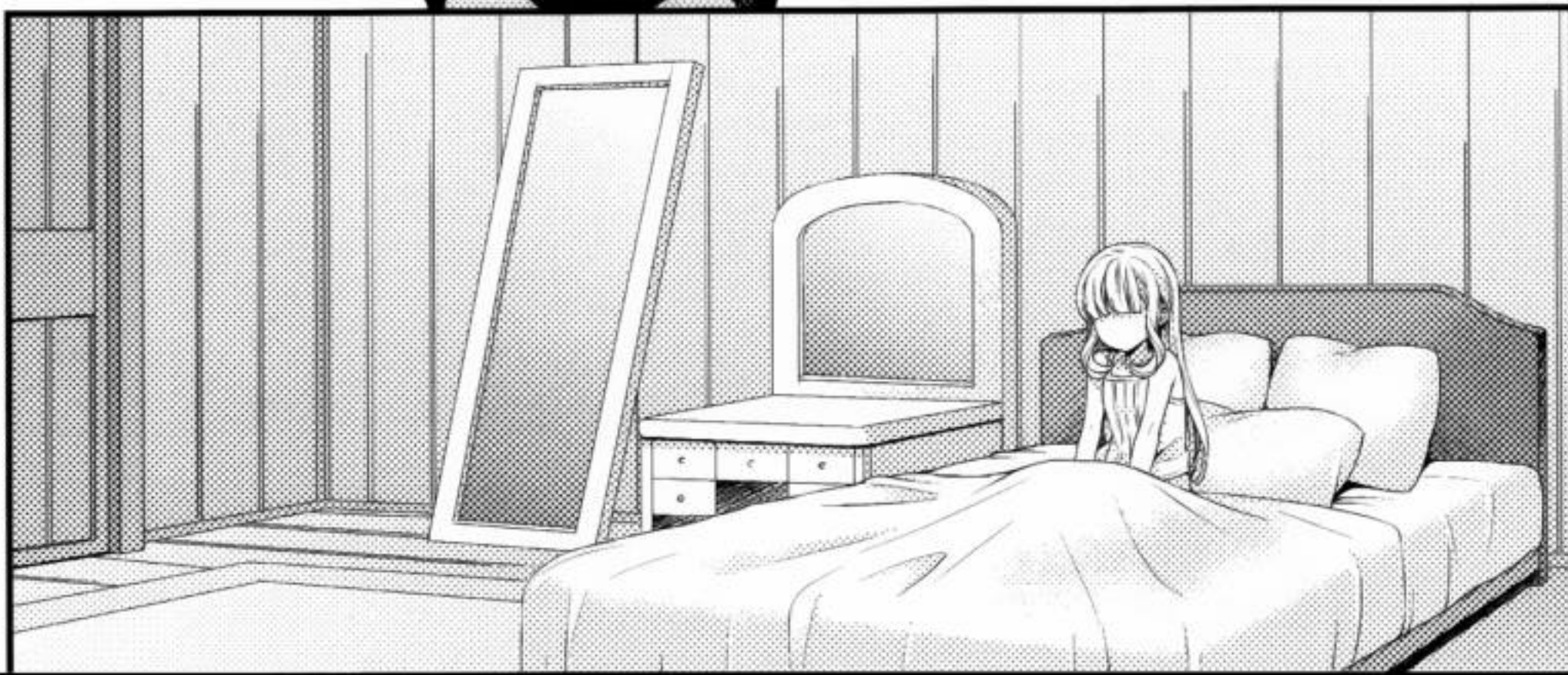


……？

じゃ、  
戻るぜ



バタン



翌朝





連日  
治まる気配の  
無かった

あの  
身体の疼きが

…おいおい

どうい  
う事  
だよ……

綺麗さっぱり  
消失していた



なんだ  
った  
んだ？

アレは  
……

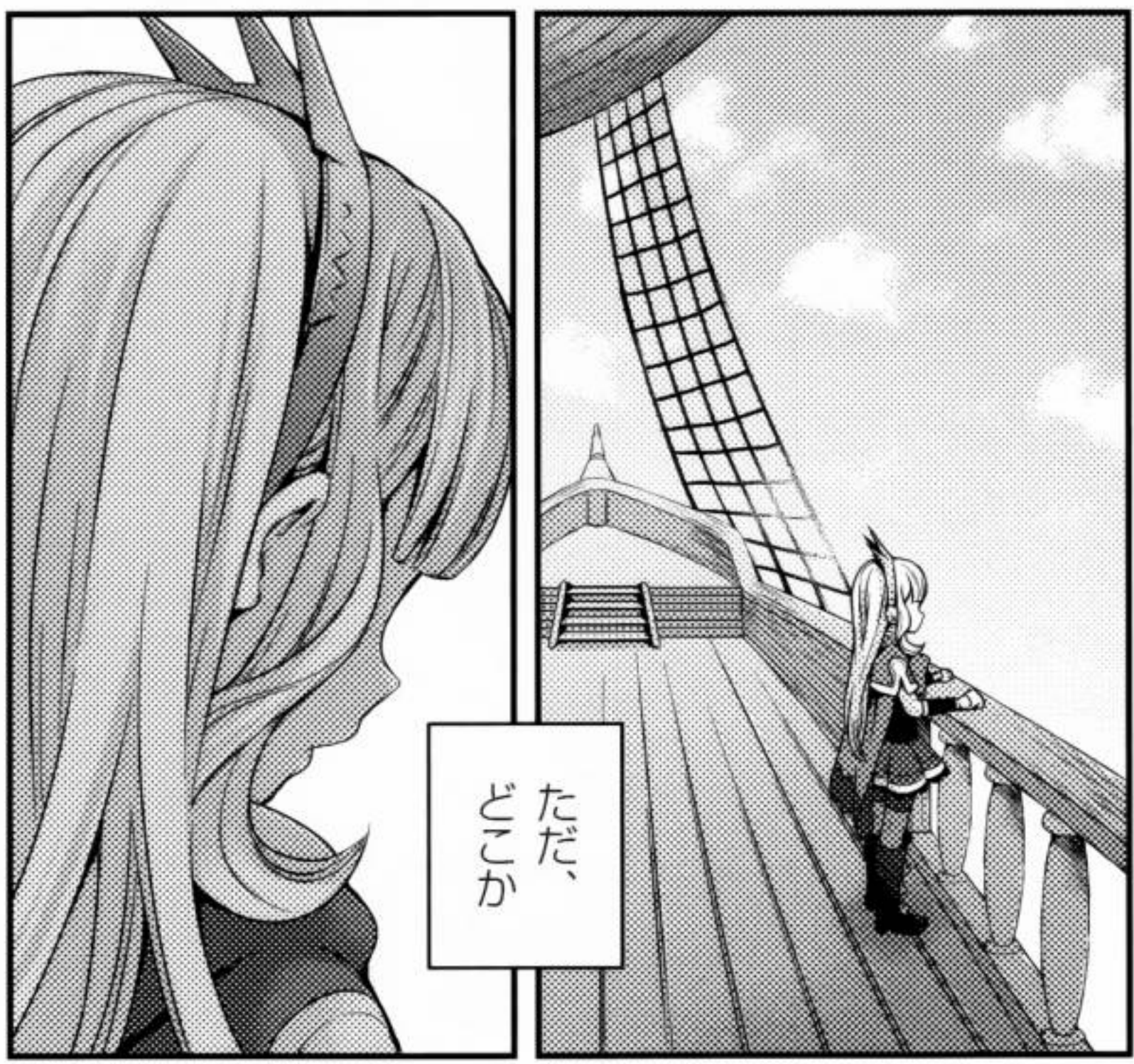


そうして  
あいつに会う  
理由を失くした  
オレ様は

同じ団にいな  
がら  
不思議と顔を  
合わせることもなく

それから  
しばらくの時を  
過ごした。

まるで、あいつに  
出会っ前と  
同じような日々を。

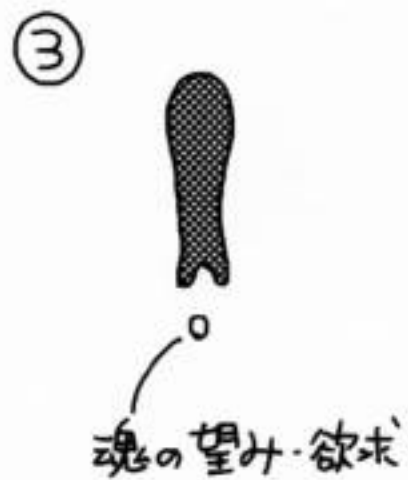


ただ、  
どこか

心にぽっかり  
穴が空いたよう  
な

そんな  
空虚さを  
感じていた……





別の見方をすれば悩みや問題は、魂の望み・欲求が心の奥底に眠ってますよ、と知らせるサインでもあると言えます。

遠い昔、心の奥底に沈めてしまった魂の望み・欲求。  
「～したかった」「～してほしい」という願いにも似たその欲求は、  
あまりに傲慢で、非道で、身勝手に、みじめで、くだらなくて、  
それを望んでしまえば、全てを喪ってしまうような、世界にひとりだけ取り残されるような、  
そんな絶望的な恐怖を味わうことになる。  
だから、蓋をして無かったことにした。

でも、その欲求は目に見えなくなっただけで、無くなることはない。  
どんなに上手に蓋をしても、上から押せば痛みがある。  
まるで、ここに果たされてない願いがあるよ、と教えるかのように。

カリオストロによって強制的に蓋を外され、絶望を味わったネツァフルピリは、  
同時に遠い昔に封印した自分の望みに気付くこととなります。

そうして葛藤の未出した彼の答えは、カリオストロの望みさえも浮き彫りにしていく。

その答えは、次回に。



いけいけ！カブ厨ジータちゃん⑤



カリオストロさん

そろそろ  
最終上限解放  
しませんか？



ん？  
ああ…  
そうだな

はい！

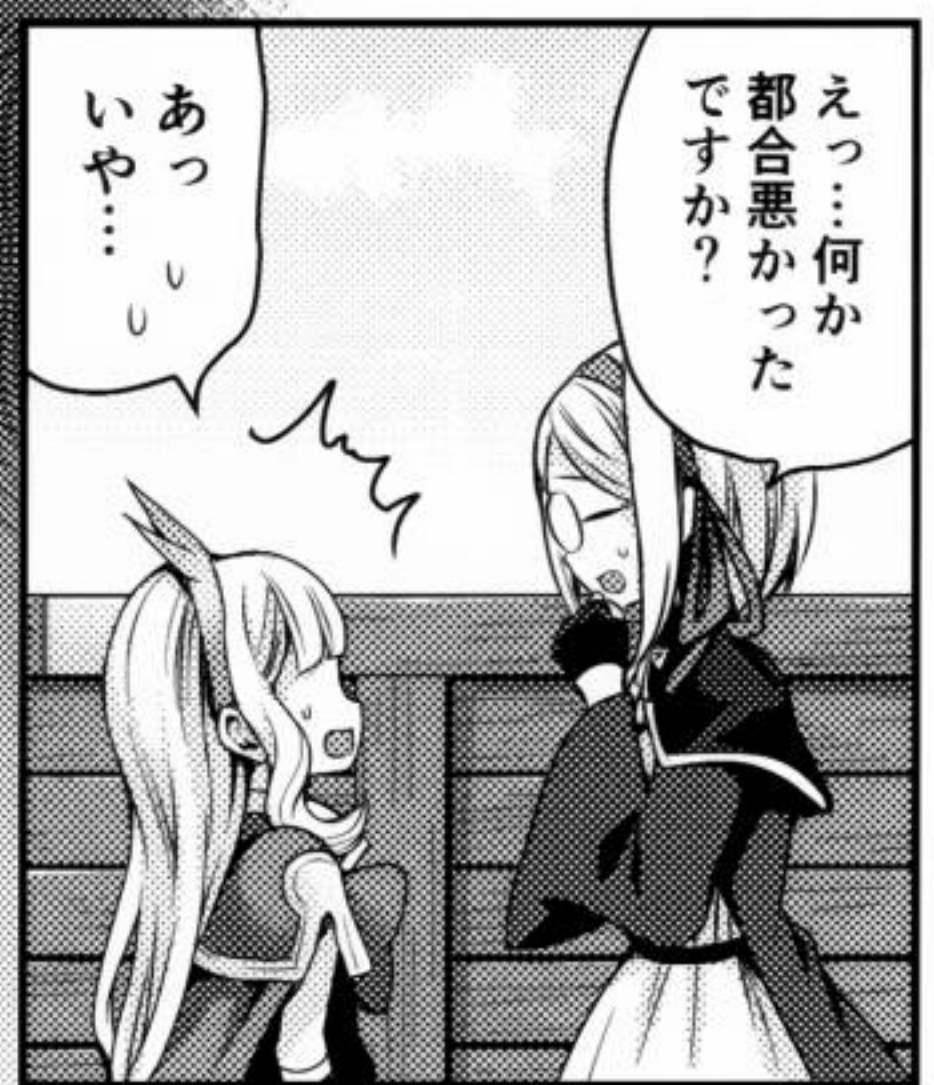
それです…



ちよーど同じく  
最終上限解放した  
ネツアワルピリさんと

一緒にサブメンバーに  
入れてレベル上げ  
させてもらいますね♪  
全編成これで!!

やめろおおおお



えっ…何か  
都合悪かった  
ですか？

あっ…  
いや…

マズい…！  
今あいつと  
顔合わせるのが  
気まずいなんて  
言ったら

ホラ☆他にも  
解放待ちの  
④さんが  
いるぞしよっ



変に  
勘繰られちゃう  
…ツ!!

その人達に  
先を譲って  
あげよっかな  
ーって☆

カリオストロ、  
今のギョウも強こし☆



なるほど！  
さすが  
カリオストロさん！

分かりました  
では先に  
他の団員を  
上限解放&  
レベル上げ  
しちゃいますね！

あ、ああ…

数日後—。

半額中は  
スラ爆が  
はかばかですねー！

カリオストロさん！  
他の団員の  
レベル上げあらかた  
終わりました！

はい！

お、  
そうか  
早いな  
次は  
カリオストロさん  
の番ですね！

というわけで

サブに置いて  
レベル上げ  
しちゃいますね♡

なんでまだ  
いる—!?

SSR	SSR
ネツァワルピリ	カリオストロ
Lv100	Lv100
6800	47000
SKILL	00

レベルは100に  
なったんですけど  
リミットボーナスを  
上げようかと  
思いました！

リミボが  
あったかああ

ネツァワルピリさんと  
何かありましたか？

あ、  
いや…

しまった…!!!

えっ…

カリオストロさん  
もしかして…





いやいやいや  
何も無い何も無い!!

無むむむむむむむむ  
何も無いぜ!!

っていつか  
これじゃ逆に

まるでオレ様が  
あいつのこと  
意識してる  
みてえじゃねえか!!!



なーこの...  
ネツァなにかがさん?

カリオストロ  
その人のこと  
良く知らないけどっ

团长さんが  
言うなら  
一緒にいべし上げ  
しこもいーあっ☆

本当  
ですか!?



そうだよ...  
あいつとは別に  
何の関係も  
無いんだから

普通に  
してれば  
いいんだよな...



じゃあ早速  
上限解放して  
編成組み込み  
ますね!

あ...ああ

大丈夫、大丈夫  
気にしなきゃ  
いいんだから...



良かったああっ  
お二人...  
属性も違うし

なかなか  
交流の機会も  
ないと思ってて...

これで親睦を  
深められますね!!



あ、  
それと...

ん?







平常心  
平常心



…カリオストロ殿

…すまぬが



ここを  
任せても  
よいだろうか？

ビクッ  
えっ!?

な、  
なんだ!?



えっ!?

あっ

ちよっ…

何!?

なんで急に!?

もしかして…



オレ様…  
避けられてる!!?



めっちや  
気にしとるやんけ

高所恐怖症

ぬらう…



おわり



ていうか団長  
お前さあ…

以前オレ様に  
媚薬入りのお茶  
飲ませようと  
したよなあ？

えっ!?

な…  
何の事です??

ごまかしても  
バレバレ  
なんだよ

開祖であるオレ様が  
お前ごときの錬金術  
見破れねえとでも  
思ったか？

あ…し  
あうう…

つーか…  
そもそも  
そんなの飲む  
までもなく

じゃ…じゃあ  
あのお茶は…

飲まずに  
捨てた

キャー  
ピリ

で…し  
ですよー

あの日の  
オレ様の身体は  
既におかしく  
なっちまった  
ワケだが…

あーでもっ  
あの日あいつに  
気を許しちゃった  
のは

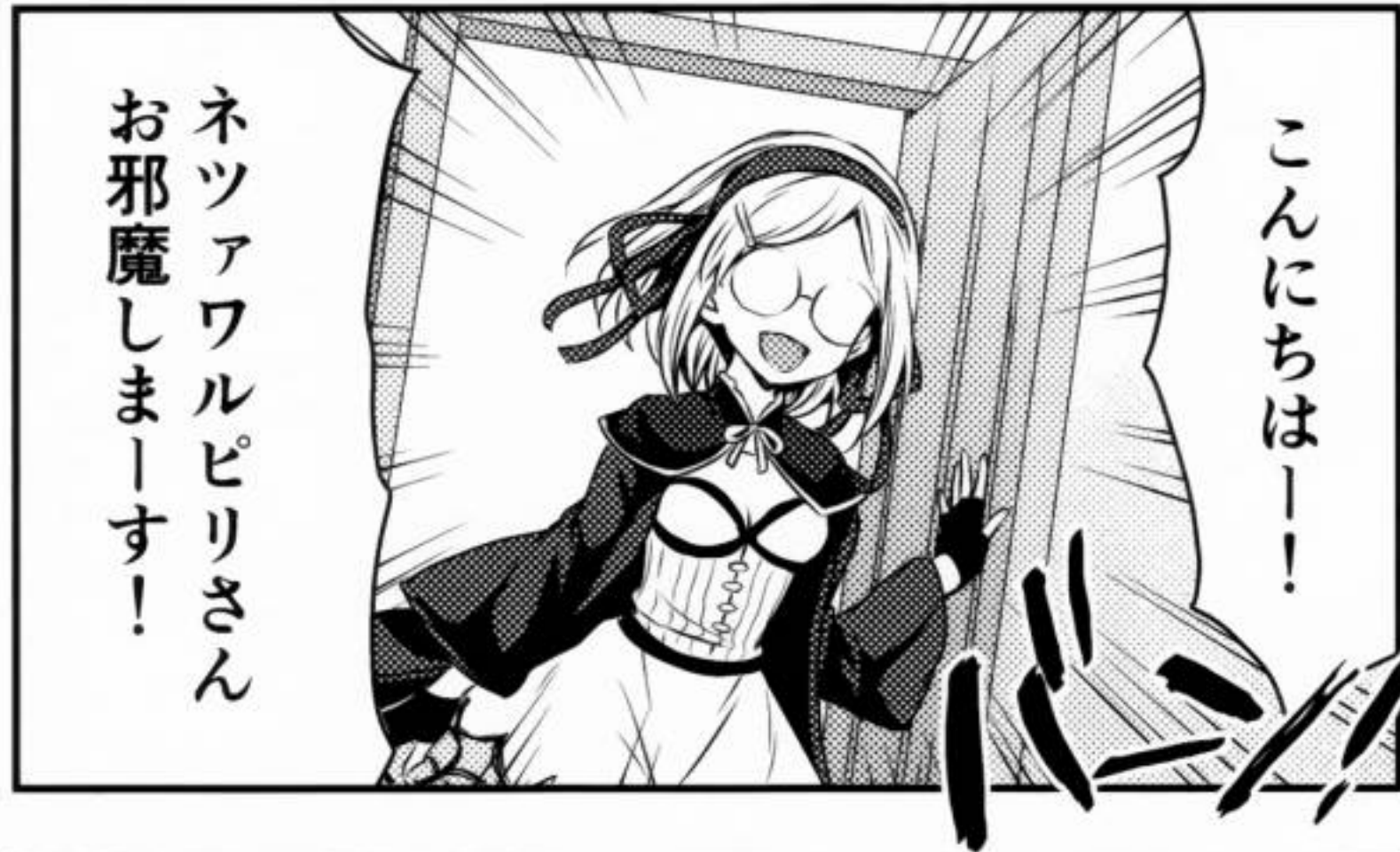
団長の紹介だから  
つても大いに  
あるからな…

結局まんまと  
団長の策略に  
ハマられたって  
ことなのか…?

あーつくそつ  
オレ様の気も  
知らないで…っ  
ちくしょーっ!!



いけいけ！カブ厨ジータちゃん⑦





お手に取っていただきありがとうございます。

捏造妄想100%でお送りしておりますネツアワルピリ×カリオストロ本もついに3冊目となりました。

シリーズ通してお読み頂いてる方はまだしも、この本からお手に取っていただいた方は「この男だれ??オリキャラ??」ってなっていやしないかと心配です。なんせ今回、最初からあの兎外しちゃってますからね……!!描いてる自分でさえオリジナルキャラと錯覚しそうになりました…危ない。  
見えないかもしれませんが一応鷲王・ネツアワルピリさんです。よろしくお願いします。

ゲーム内にて未だにネツアさんの髪型が公開されていなくて相変わらず想像で描くしかない状況なのですが、今改めて見たら1の時は長めに描いてた髪の毛が2と3ではなんか短くなっておりました!無意識に!!(笑) いや……最終解放絵でこれ髪の毛かな?って思ったやつがトレカの描き下ろし見たらあれ、これ模様じゃね?ってなって混乱しまして毎回髪の毛が伸びたり短くなったりという事態に。4ではまた伸びるかもしれませんが伸びないかもしれませんが、どっちにしる鷲王・ネツアワルピリさんなので、よろしくお願いします。

さて、今回はアレですね。ついにネツアさんがカリオストロちゃんへの恋心を自覚するという回なので、なんというか、恥ずかしいですね!私が!!(笑) そしてようやく今まで受け姿勢だったネツアさんが本気出してくれたのでえっちな受けカリオストロちゃんが描けて満足です…念願のおもらし描けたあああ!!いやあ最高ですね(´ω`)

あ、ちなみに設定的にネツアさんは1の時から既にカリオストロちゃんに惚れてまして今回ようやく自覚した、という流れになります。そう、実は一目惚れだったのですよ。(ニヤリ)

ところで「ちんこさえあればいい」というセリフは某・子宮委員長はるちゃんの名言をオマージュさせていただきました。このセリフ、一見相手(男性)を否定するように(お前の価値はちんこだけだ、みたいな)捉えられてしまいそうなのですが、別の見方をすると「男でさえあればいい」という意味になり、つまり肩書や経歴もたとえどんな心の闇を抱えていようと関係なくあなたでいいよ、という超肯定のセリフなんですよ。

今回のネツアカリの関係性にはピッタリだな、と思ったので採用させていただきました。

子宮委員長はるちゃんは個人的にとっても好きでファンなので、セリフに組み込めて良かったです。

(ちなみにはるちゃんは現在「ちんこさえもいらない」(あなたがいてくれるだけでいい、何もいらない。)という域に達しておられて、本当に尊敬するしかありません。はるちゃん、セックス卒業おめでとうございます!)

あと私は心の仕組みを分析&解説するのが好きでして、今回カリオストロちゃんが説明するという形でちょろっと書いて満足ですw

他にもカリオストロちゃんのゲス顔とかああ見えて実は面倒見いいところとかネツアさんの高所恐怖症なところとか(笑)描きたいものがたくさん描けてほんとに良かったです……!

お話自体も起承転結のまさに転といったところでしょうか。最終話である4へつなげる重要な回でもあり、また1や2でのさり気ない伏線を回収する役目も担っていて、盛りだくさんで詰め込めて良かったな~と思います。

というわけで、次の4が最終話で完結となります。

心の仕組み的に考えるとこの二人が出逢うことは必然なので、そこらへんがお伝えできればいいなと思います。

だいぶお話部分が長く、エロシーンは短く(…)なるかと思いますが、よろしければ最後までこの二人の話を見届けてやってください。

それでは、お付き合い頂きありがとうございました。

たいしょう田中

special thanks: BUSHI(シリーズタイトルロゴ作成)

まこ(トーン貼り)



**発行日**

2017年8月13日

**発行**

ああ愛してる / たいしょう田中  
tsumi\_ichigo@yahoo.co.jp  
[http://pixiv.me/taishow\\_t](http://pixiv.me/taishow_t)

**印刷**

表紙・口絵：印刷の通販グラフィック 様  
本文・製本：くりえい社 様

※18歳未満購読禁止  
※無断での転載・複写、アップロード、  
ネットオークションへの出品等は  
ご遠慮下さい。

